

# 「長岡市中心市街地活性化基本計画（案）」 に対する意見書

平成 20 年 8 月 29 日

長岡市中心市街地活性化協議会

## 「長岡市中心市街地活性化基本計画」(案)に対する意見書

長岡市中心市街地活性化協議会

### 1. はじめに

長岡のまちづくりは「市民と民間企業と行政の連携による垣根の無いまちづくり」であるべきと考えます。そして中心市街地の活性化は、まさに長岡のまちづくりだと考えます。二度にわたる震災からの復興は、この中心市街地の復興から始まっています。新潟県の中越地域の人々にとって「まち」とは、かつての長岡城址の地であり、現在 JR 長岡駅周辺の手通を中心とする中心市街地(まちなか)でした。しかしながら、高速交通網の整備とモータリゼーションの進展は、市民のライフスタイルの多様化とドア・ツー・ドアといった市民生活の利便性の向上をもたらした一方で、市街地の拡大を招くとともに分散型のまちづくりを進展させ、全国の地方都市と同様に中心市街地の空洞化を招いています。

それは、かつての長岡の歴史や風土、文化といった市民のアイデンティティをも希薄にするとともに、人口減少社会、長寿命社会の中での市民生活の基盤となる都市構造に大きな問題を生み出すものと考えます。

こうした状況の中、長岡市において平成 15 年に設置された「長岡市中心市街地構造改革会議」は、市民と行政が垣根を無くし、ともに議論した結果「新たなまちなか型公共サービスの展開と広域市民のハレの場づくり」と提言しています。これは、長岡の新たなまちづくりを市民と産業界の総意のもと、行政とともに協働し、展開するものであり、全国に発信できるまちづくりとして大いに評価がなされているものです。

さらにこの提言は、二度の震災を乗り越え、「長岡市中心市街地都市再生整備計画」として着実に推進され、今まさに、まちなかの再整備が動き始めています。

今回、改正中心市街地活性化基本法にもとづき策定がなされる「長岡市中心市街地活性化基本計画(案)」は、動き始めた中心市街地再生を市民・産業界の総意のものとし、市民・産・官・学の連携と協働により新たな長岡のまちづくりを実践するという大きな「節目の計画」と考えます。つきましては、中心市街地の活性化に向け、長岡市の強力な支援のもと、民間活力の醸成、多様な市民、産業界の連携を図りながら、新時代に向けた中心市街地活性化への取り組みを行うものとして、次のとおり意見を提出いたします。

## 2. 協議会の意見

### (1) 基本方針等計画全般について

長岡市の中心市街地活性化は、基本計画（案）の目標に基づき、今後概ね 5 年間の計画期間内において、各種のハード・ソフト両面での具体的な事業を官民一体となって集中的に取り組むことにより、その効果を出現できるものと考えます。

基本計画（案）は、平成 15 年度の「長岡市中心市街地構造改革会議の提言」から平成 18 年の「長岡市中心市街地都市再生整備計画」の事業推進を踏まえ、新たに、中心市街地活性化に向けた、より大きな効果を生み出すためのソフト事業、その後検討が加えられたハード事業を付加するものであります。記載されたこれらの事業が着実に実施されることにより、中心市街地の活性化に向けた総合的な取り組みがなされることが考えられることから協議会においては、基本計画（案）の内容について、概ね妥当であると考えます。

しかし、個別事業の組み合わせをより一層中心市街地活性化に効果的に結び付けていくためには、総合的、俯瞰的な視野からの事業推進、計画の調整も必要になると思われ、それらを確保することも重要であると思われまます。

協議会としては、この基本計画（案）にもとづき、中心市街地の活性化に向けた取り組みを市民や商店街、民間事業者との連携のもと、積極的に展開するものであります。

なお、基本計画（案）の推進にあたりましては、次の個別事項について十分配慮し、支援していただくことを要望します。

### (2) 個別事項

#### ① 中心市街地活性化の推進体制について

中心市街地の活性化に向けた各種施策、事業の連携、調整と円滑な実施を目的として、市民・産・学・官により構成された長岡市中心市街地活性化協議会ならびに NPO 法人まちなか考房の組織及び事業推進体制の充実については、継続的かつ、より積極的な長岡市の支援・協力をお願いする。

また、中心市街地活性化に向け、多方面にわたる行政組織・関係部局間の横の連携等を密にし、中心市街地全体を見据えた総合的な事業推進をお願いしたい。

② シティホール整備事業、長岡駅周辺地区整備、市街地再開発事業の推進について

中心市街地活性化の核となる上記事業等の推進については、中心市街地活性化が長岡の新しい顔をつくり、長岡のまちづくりの骨格を形成する重要な事業であるという認識のもと、空間デザイン・空間構成等に配慮しつつ、各種事業の横の連携と中心市街地活性化協議会等との十分な協議・調整、連携を図っていただきたい。

シティホール整備事業については、市役所の移転立地、長岡市公会堂の整備、市民活動ホール整備等多機能な空間整備であり、より多くの市民の利用が期待できる中心市街地活性化の核事業であることから、各種事業の連携と市民自らの施設であるという意識の醸成と計画段階からの市民参加、関係機関の連携が重要と考える。

また、長岡駅周辺地区整備においても、中心市街地関係者のみならず、広域市民にとっての長岡の顔であることから十分に市民コンセンサスを得るとともに活性化への起爆剤となるよう協議会を含む関係機関との連携調整を密にお願いしたい。

市街地再開発事業においては、民間活力の活用による中心市街地活性化の有効な手段であり、事業推進においてはシティホール整備事業等との連携はもとより、中心市街地再生の波及効果・連鎖を生み出すような事業支援をお願いしたい。

③ 交通政策について

シティホール完成時には、市民の交通パターンが大きく変化することが考えられる。今後の中心市街地内の道路整備のあり方、駐車場のあり方、公共交通の利用を含め、交通政策全般について、早急に議論をはじめていただきたい。交通対策については、活性化イベント等各種事業との連携のもと、パークアンドバスライドや駐車場誘導を含めた交通円滑化対策など実証実験的模索をお願いしたい。

④ 商業の活性化について

長岡市における中心市街地活性化については、市役所庁舎を代表とする様々な都市機能のまちなか回帰が大きなコンセプトとなっている。この中で、特に商業機能は、これまで以上に中心市街地での都市機能において重要かつ不可欠であり、これまでの各種施策の継続、発展的な支援と千秋が原地区との連携を含めた新たな商業活性化施策展開に向け協力をお願いしたい。

⑤ 歴史・文化に配慮したまちづくりの推進について

長岡市の中心市街地は、長岡城址の地であり様々な歴史遺産や文化が埋もれている地である。また、長岡空襲被災の地でもある。広域市民のアイデンティティの一

つとして、また、次世代に受け継ぐものとして、中心市街地活性化における空間デザイン、ソフト事業展開において配慮していただきたい。

⑥ 区域設定の考え方について

基本計画（案）において設定されている 90.5ha については、概ね妥当と考える。しかし、基本計画にも記載されているように周辺区域には、公共施設も多く、マンションの増加等も進んでいる。各種事業の展開においては、極端に区域にこだわることなく、事業の波及効果と中心市街地活性化という視点で周辺部への配慮も取り入れた事業展開をお願いしたい。

⑦ 基本計画への柔軟な対応について

今回、計画の熟度不足等により基本計画（案）に掲載できなかった事業もある。今後、協議会等で具体化した段階で、積極的に基本計画への追加・掲載するなど、計画変更を柔軟に対応していただき、活性化目標の達成、効果増進を図っていただくよう配慮をお願いする。

⑧ 市民への情報の公開及び広報等について

中心市街地の活性化事業に取り組むには、利害関係者のみならず、合併して広域となった長岡市の全市民の理解と協力が必要である。中心市街地活性化協議会としても、各界各層の市民を巻き込んだ協議会の運営に取り組むものであるが、行政としてもより多くの市民に対し、基本計画の周知徹底と基本計画への理解を得るための説明責任を十分図っていただきたい。

⑨ 事業実施の確認・評価フォローアップについて

協議会としても民間の事業計画を中心に適宜、進捗状況を確認し、事業の実効性を確保することが重要な役割だと考えている。協議会に対し、定期的な事業進捗状況や数値目標の達成度などの報告をお願いする。

⑩ その他

中心市街地活性化への取り組みは、将来に向けた環境・エネルギー問題に対応した施策展開が求められる。ハード・ソフト事業推進にあたっては、緑化の推進ならびに省エネルギー対策を含めた事業推進が官民一体となって図られるよう、啓発活動や施策誘導をお願いしたい。

また、中心市街地への都市機能強化を図るため、民間投資を促進する環境整備も合わせてお願いしたい。

基本計画（案）への記載はないが、市民にとって中心市街地は安全・安心な場ではない。中心市街地全体の防犯性の向上を含めて、安全・安心への配慮をお願いしたい。

### 3. おわりに

中心市街地活性化協議会は、基本計画の推進や中心市街地の活性化策について継続的に協議を行うとともに、市民や商店街、民間事業者等との連携を密にし、中心市街地のまちづくり全体を担うマネジメント組織として活動を展開するものです。

長岡市におかれましても、協議会と協働して中心市街地の活性化に積極的に取り組んでいただくことを強く要望いたします。